

**菅公学生服株式会社 都城工場** 【会社概要】 スクールウェア（ブレザー、スラックス等）、企業ユニフォームの製造（縫製）

### 訓練受講のきっかけ（経緯）

当社では製造工程別に班編成しリーダーを置いている。50歳代のリーダーは工程分析等の研修の受講経験を有するが、40歳代以下のリーダーは同様の研修の機会が未だなく、「生産現場を分析し課題に取り組める」ことへ課題感を持っていた。この課題に対し様々な認識を共有してもらいたいと感じていたところポリテクセンターから案内があり受講に至りました。

### 【訓練ニーズ】

「製造現場の生産性を上げるため、班リーダーのスキルアップを図りたい」  
 ○生産現場を分析し課題や改善に取り組む意識の向上を図りたい  
 ○現場スタッフを巻き込んで取り組むためのコミュニケーション力（ほめる、指導する、注意する等）の向上を図りたい。

### 訓練の実施状況

#### 訓練の概要

- 令和5年9月に6時間×1日（計6時間）コースにて実施。  
南九州地域の各工場の製造工程の班リーダー26名が受講。
  - 主な内容
  - 1:生産活動の基本1→製造業の流れを理解し、社員としての心得を知る  
(1)製造全体のしくみ (2)生産人として基本的な心得
  - 2:現状分析とムダの発見1 →原価を知り改善に活かす  
(1)製造原価と利益 (2)コストと損益分岐点 (3)工程管理から考える生産性
  - 3:生産活動の基本2 →製造業の基本を知り、問題と改善の課題を考える  
(1)生産活動の基本 (2)生産現場の問題と改善の必要性
  - 4:現状分析とムダの発見2 →現状のロスに着目しその課題を考える  
(1) 生産活動でのロス構造  
(2) 課題を把握する現状分析  
(3) 必要とされるスキル
  - 5:生産現場の改善  
→解決手法で課題解決ストーリーを描く訓練  
(1) 問題解決手法「OCストーリー」  
(2) 縫製工場の改善検討事例
- ※工場や工程でグループを編成。予め事前課題を設定しグループ演習に活用。訓練終盤の報告会で発表し全員で共有。



訓練の様子

#### 受講した感想

##### 【受講者の声】

- ・今現状の課題の改善に対して前向きに取り組めそうです。又、違う工場とのコミュニケーションの場として楽しくみんなで取り組みました。
- ・コミュニケーションの大切さ、人づくりの大事さが分かった。
- ・命・解・援と言う言葉を初めてきて、すごく勉強になりました。
- ・問題・課題点を明確にすることができたので、これからはそれを直していけるようにしたいと思いました。
- ・改めてライン内での改善点などを見つける、見なおすことができた。

##### 【事業主の声】

今回はこのような研修を開催していただき本当にありがとうございました。研修に参加したメンバーからは大変分かりやすく参加して良かったと伺っています。弊社ではリーダークラスの世代交代が進んでいまして、日々の業務の中で、『生産現場の問題解決』をどのようにしたらいいかと考える事もしばしばあると聞いていましたので今回の研修をきっかけに何か1つでも修得したことを実践してもらいたいと考えます。日々、社会の環境は変わっていますが、業種問わず、生産管理の手法、カイゼン手法は変わりません。これからもこのような機会の提供をよろしくお願ひいたします。